

令和7年4月25日

学校名 鈴鹿市立神戸中学校

学校長名 市川 善浩

令和7年度 校内研究実施計画書

1 研究主題及び教科

研究主題	「Heartful 神中 ～安心できる学校、夢中になれる授業を目指して～」 3年次テーマ「Colorful ～認め合い、高め合う～」
教科・領域	全教科・全領域

2 主題設定の理由

本校は、生徒数が約750名の大規模校である。平成22年度に校舎を新築移転し、整った環境のもと、学習や部活動などに取り組んでいる。ブラジルやペルーなどの外国につながる生徒が多いことも特徴の一つである。本校では、これまですべての教科や領域を通して人権教育を推進し、人権問題を自分の課題として考え、差別解消に向けて行動できる生徒の育成をめざしてきた。

しかし、生徒の中には、中学校へ入学して学習内容が難しくなることや、交友関係や家庭環境の変化などから、小学校段階に比べて授業の理解度が低下したり、問題行動等を起こしたりする生徒もいる。また、生徒の中には複雑な生活背景を抱えている場合もあり、時には学習意欲をそがれたり、荒れとして現れたりする事例も見られる。

これらのことを踏まえ、令和3・4年度には鈴教研研究委託校の指定を受けて「集団づくり」「学びの土台づくり」「授業づくり」の三つの柱を立てて、研究主題「確かな学力を育み、ともに学び、高め合う子どもの育成」に向けて取組を進めてきた。

2年間の研究を経て、組織的な「授業づくり」の取組については一定の成果が見られた。一方で、令和4年度に実施した「安心して学べる学校を目指して」生徒用アンケートからは、「学校に行くのは楽しい」「学校に行きたくないと思うことがある」の項目に課題が見られることから、学習の土台となる「集団づくり」については、さらに改善に向けた取組が必要でことが分かってきた。

このようなことから、学習への内発的動機づけを高めるとともに、生徒同士や生徒と教師がつながり、仲間との関わりや承認活動などを大切にした学習活動を通して、安心できる学校とそういった環境の中で夢中になれる授業づくりを行うことが大切であると考えた。

そこで、学習指導要領で示されたこれからの社会で求められる資質・能力を育成するため、教育的に不利な環境のもとにおかれている生徒はもとより、誰一人取り残すことなくすべての生徒の学力保障及び進路保障を目指し、令和5年度より研究主題を「Heartful 神中 ～安心できる学校、夢中になれる授業を目指して～」と設定し、研究を続けている。

3 研究内容及び方法（具体的な手立てまで詳しく書いてください）

研究主題の達成に向けて、令和5年度入学生をターゲットエイジとし、単年ではなく中長期的に生徒の育成を目指すこととした。

1年次にあたる令和5年度は、学校生活の基盤となる「土壌づくり」「種まき」の時期と位置づけ、生徒どうしをつなげる取組として、学校生活の様々な場面で教師が生徒をつなげる声掛けや授業づくりを行ってきた。

2年次にあたる昨年度は、1年次に培った土壌をさらに豊かにする「水まき」「肥料やり」の時期と位置づけ、生徒同士の力でお互いにつながっていけるような取組を進めた。仲間に対するより良い声掛けの仕方や関わり方について学ぶことを通して、安心できる環境の中で、繋がりを増やすことができる居場所づくりを目指した。

なお、3年次にあたる本年度は、2年次までに育んだ仲間との関係を深め、その関係を生かして自分の考えを深めたり高めたりすることができるような取組を進めていく。学校行事や学級活動等で協働的に活動することができる生徒や、主体的・対話的に学習に取り組むことができる生徒の育成を目指していく。

以上を踏まえ、令和5年度から令和7年度までの各年度のテーマを次のように設定している。

令和5年度研究テーマ	「Peaceful ～安心して過ごせる～」
令和6年度研究テーマ	「Helpful ～つながり、支え合う～」
令和7年度研究テーマ	「Colorful ～認め合い、高め合う～」

令和7年度の具体的な取組は、次のとおりである。

「Colorful ～認め合い、高め合う～」を目指す取組

【つながりで強くなる学級・学年集団づくり】

- ① 人権教育の視点からの基本的な仲間づくり
- ② 生徒指導の視点からの学級経営
- ③ 生徒の変化に気づくための視点と対応策の共有

【つながって学習に取り組む土台づくり】

- ① 家庭学習の習慣化
- ② 放課後学習
- ③ 幼小中連携推進委員会での取組

【つながりで強くなる授業づくり】

- ① 全国学力・学習状況調査等を活用した学力状況の実態把握と課題の明確化
- ② めあて・振り返りの継続
- ③ 授業形態の工夫
- ④ ICTの積極的活用
- ⑤ プチ授業見学期間
- ⑥ 授業改善ルーブリック
- ⑦ 授業改善プラン

4 年間研修計画

	年間計画表
4月	< 1 日 > 教科部会（シラバス確認、定期テスト担当者・公開授業予定者決定） < 3 日 > 第 1 回校内研修会（エピペン、エンカウンターと SST、教科部会） < 1 6 日 > 第 2 回校内研修会（生徒指導のきまり、UD、テストの受け方、今年度の研修） < 1 4 ・ 1 7 日 > 全国学力・学習状況調査 < 2 3 ・ 2 4 日 > 第 1 回みえスタディ・チェック < 3 0 日 > 第 3 回校内研修会 （Colorful のための視点・重点取組の説明、授業づくりのベクトル合わせ、指導案の書き方、自分化シート記入）
5月	< 9 ・ 1 2 日 > 放課後学習 ※中間テスト 1 3 ・ 1 4 日 < 1 4 日 > 第 4 回校内研修（行事を通して Colorful な意識を高めるために ～体育祭に向けて～）
6月	< 4 ～ 6 日のうち 1 日 > 全国学力・学習状況調査（経年変化調査） < 4 ～ 2 8 日 > 校内プチ授業参観期間 < 1 3 日 > 前期公開授業研究会 （3 教科の公開授業・事後検討会・全体会）※ 5 月下旬 指導案べ切 < 1 6 ・ 1 7 日 > 放課後学習 ※期末テスト 1 8 ～ 2 0 日
7月	< 2 日 > 第 5 回校内研修会 （教研集会発表、行事を通じた Colorful な取組の結果の検証、1 学期の授業の振り返り）
8月	< 8 日 > 幼小中連携事業（校区夏期研修会） < 2 0 日 > 教研集会発表 < 2 1 日 > 第 6 回校内研修会 （行事を通して Colorful な意識を高めるために～文化祭に向けて～、不登校支援）
9月	< 3 日 > 第 7 回校内研修会（全国学調、みえスタの結果分析を踏まえた授業改善） ※学力向上部より < 2 2 ・ 2 4 日 > 放課後学習 ※中間テスト 2 5 ・ 2 6 日
10月	< 1 0 月 1 日 ～ 1 1 月 2 9 日 > 校内プチ授業参観期間
11月	< 1 2 > 第 8 回校内研修会（行事を通じた Colorful な取組の結果の検証） < 1 7 ・ 1 8 日 > 放課後学習 ※期末テスト 1 9 ～ 2 1 日
12月	< 1 0 日 > 第 9 回校内研修会（2 学期の授業の振り返り）

1 月	< 20日 > 第2回みえスタディ・チェック < 29日 > 後期公開授業研究会（3教科の公開授業・事後検討会・全体会） ※中旬 指導案〆切
2 月	< 4日 > 第10回校内研修会（研修のまとめ、令和8年度シラバス作成計画の作成） < 19・20日 > 放課後学習 ※1・2年生学年末テスト24～26日
3 月	< 11日 > 第11回校内研修会 （全体の総括、来年度の計画案提案、自分化シート振り返り） < 19日 > 令和8年度シラバス（案）および授業改善に向けた各教科の取組総括〆切 < 27日 > 新転任者説明会